

早稲田大学環境資源工学会報

2019年4月20日発行 第54号

発行所：早稲田大学環境資源工学会
総会幹事団
編集：会報部
〈非売品〉

2019年度早大環境資源工学会OB・OG交流会のご案内

日時：2019年6月15日（土） 14:00～19:30（受付開始 13:30）

場所：早稲田大学西早稲田キャンパス63号館2階 03/04/05会議室

（懇親会：56号館カフェテリア）

【早大環境資源工学会総会】

時間：14:00～14:50

- ・早大環境資源工学会活動報告
理事 川崎 秀憲
- ・早大環境資源工学会会長の選任
会長 山崎 治郎
- ・早大環境資源工学会近況
早稲田大学理工学術院 教授
学科主任 香村 一夫

【環境資源関連講演】

時間：15:00～16:00

「都市鉱山メダル」と
「環境ロドリゲスの活動」について
早稲田大学理工学術院 教授
大和田 秀二
早稲田大学 環境サークル
環境ロドリゲス 前幹事長
梅津 えみ

～休憩（10分）～

ビデオ放映
早稲田大学ラグビー部の歴史

【特別講演】

時間：16:10～17:40

「ラグビーに学ぶ最強チームの
創り方
～エディ・ジョーンズの準備カ～」

早稲田大学ラグビー部OB
今泉 清 氏

（56号館カフェテリアに移動）

●●●懇親会●●●

時間：18:00～19:30

懐かしい同期や先生方との久しぶりの再会や応援団&チアリーダーズとともに校歌を歌いあげるのも懐かしいものです。
心ゆくまで懇親会をお楽しみください。



2018年6月16日 総会集合写真



環境ロドリゲスは、環境に強い関心を持つ学生を中心とする早稲田大学公認、エコリグ（全国青年環境連盟）加盟の学生環境NPO（非営利組織・任意団体）です。「学生が主体となって多様なアプローチから環境問題の解決に貢献する」という理念のもとに活動しています。

今泉氏のご講演に先立ち、休憩時間に早稲田大学ラグビー部の歴史を紹介するビデオを放映します。創部時代のエピソードやその後の躍進、OB同士の長年の絆と交流など、ご講演の理解をより深められる内容です。ぜひご覧ください。



今泉 清 氏

6歳でラグビーを始める。早稲田大学時代は在学4年間で関東大学対抗戦優勝2回、大学選手権優勝2回、日本選手権優勝1回。誰にも予測できないビッグプレーで話題を呼び、日本のラグビー界の人氣と発展に大きく貢献した。卒業後はニュージーランド留学を経てサントリーで活躍、日本代表にも選ばれている。現役引退後、早稲田大学やサントリーフーズのコーチとして後進の指導に注力。
現在ではパフォーマンス・コンサルタントとして、人材育成活動の現場で活躍している。人一倍の勝負強さを持つ今泉氏が、講演ではリーダーシップ、マネジメント、ダイバーシティ、エンゲージメント、モチベーションアップ、チームビルディング、自己実現、組織開発、人材育成、他をテーマに講話する。

会長よりご挨拶

早大環境資源工学会会長の山崎治郎（80年秋原研卒）です。

当会は、学科、学生の皆様、そしてOB・OGの皆様に様々な形で「お役に立つ」会を目指しています。例えば、毎年学科から推薦された2名の4年生に各30万円の奨学金の給付やすっかり定着した卒業生による寄付講座です。また、総会では、講演会及び情報交換会を通じ、皆様の交流の場となっています。特にOB・OGから学生の方々に就活や社会に船出してから様々な有益なアドバイスをより多く頂ける様に出来ればと考えています。また勿論、OB・OGの方々には、お仕事上の情報交換やゴルフのメンバー探し等の機会になるかと存じます。

これからも、より「お役に立てる」アットホームな会を目指しますので、今まで以上のご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。

早大環境資源工学会総会に当たって（幹事長より）

こんにちは。早大環境資源工学会総会の幹事長を務めております87年秋原研究室卒業の吉成龍太郎です。

今年度の日本国はイベントの多い1年です。4月30日の天皇陛下御即位、5月1日の皇太子殿下の天皇陛下への御即位（同時に令和元年の開始）、6月のG20サミット、8月の第7回アフリカ開発会議、9月のラグビーワールドカップ日本大会、10月の消費税率10%への上げなど。

2019年度の早大環境資源工学会総会は、上記の国家的イベントには重ならず、また令和元年の6月15日（土曜日）に西早稲田キャンパス（理工学部キャンパス）にて開催されます。受付開始は13時30分、総会開始は14時、総会後の懇親会は18時から開始されます。総会での特別講演では、早稲田大学ラグビー部OB今泉清様にご講演をいただきます。

自分の学生時代の思い出ですが、当方、学生時代はあまり勉強せずに、理工学部公認のアメフトクラブ（チーム名 バッカス お酒の神様です。）に所属し、当時理工学部キャンパスにあった（今は55号館になっているところ。）グラウンドで練習し泥まみれになっていました。4年生の時は、練習が終わると秋原研究室に行き、夕方ごろから始まる宴会に参加していました。おかげ様でアルコールの嗜み方を鍛えて頂き、社会人になってからもお酒の席での失敗はなかったと思っています。（自分だけがそう思っているのかもしれませんが。）

もう一つの思い出は、研究室の皆でラグビーの早明戦を観戦に行ったことです。500円の自由席での観戦の為、試合の前日から国立競技場の列に並び（12月なので、寒い。）そして酒を飲みながら国立競技場のまわりを徘徊し、ほぼ二日酔いの状態で試合を観戦しました。試合観戦後はまた飲みに行くという。全て懐かしい思い出です。

OB・OGの皆さん。懐かしのキャンパスで行われる総会に参加し、若いころの思い出に浸ってみてはいかがでしょうか。懇親会は20時前に終了予定ですので、懇親会後は高田馬場、或いはすっかりリトルコリアになってしまった新大久保で同期と共に飲み直すのも良いかもしれません。

OB・OGの皆さん、同期を誘い総会へのご参加をお待ちしております！

交流会参加のお申込みはWebでも受付けております

交流会参加のお申込みは、会費等振込用紙を用いた事前登録のほかHPページから事前登録を受け付けております。以下のHPのリンクから、ユーザー名、パスワードでアクセスできます。

<http://w-shigen.sakura.ne.jp/>

ユーザー名：resource

パスワード：waseda1909

（または、Google検索：

早大環境資源工学会）

連絡先更新のお願い

転勤や転居等により、住所、勤務先等に変更があった方は、上記HPページより、名簿に登録されたデータの変更届を行うことができますので、ご活用ください。

早大環境資源工学会奨学金よりご報告

早大環境資源工学会奨学金は、故海老原安太郎氏(昭和22年卒)のご厚志と会員各位からのご厚志を合わせた基金から、資源工学会奨学金制度として1994年に発足し、1997年からは早稲田大学の正式な学内奨学金制度となっております。

本奨学金の支給対象者は、学業成績、家計状況および人物の総合的な評価により選考され、現在、毎年2名の学生に各30万円(合計60万円)、創設以来延べ45名の方に支援を行っています。

本奨学金は、早大環境資源工学会奨学金基金の運用益と会員の皆様からの寄付金を原資としております。毎年、60~100人の会員の方々のご寄付を頂いております。2018年は、下記2名の4年生の学生に奨学金を給付することができました。ありがとうございました。

受賞されました2名の方の、将来への抱負をいただきましたので掲載させていただきます。

長澤 真君さん(内田研究室)

この度は早大環境資源工学会奨学金という大変名誉ある賞を頂き、誠に有り難うございます。私は現在、誰もが一度は疑問に思うであろう「地球以外に生命を育む天体は存在するのか」という問いに水熱合成実験というアプローチで取り組んでいます。水熱合成は資源分野では熱水性鉱床の生成機構解明のために用いられてきた手法ですが近年の惑星探査により木星・土星の衛星に海底熱水環境の存在が強く示唆されているため、その環境を室内で再現しようと手法で実験をしています。私の所属する研究室では今年度から始まった新規テーマのため、中々活路を見出せず大変ではありますが、「勉強」と「研究」との決定的な違いを痛感し、とてもやりがいを感じています。

学部卒業後は博士課程まで進学し、将来は地球化学をベースに環境・資源問題に携わる研究者になりたいと考えています。研究の場としては国立研究機関や企業での研究職も考えられますが、私は学生の指導も行いたい大学教員を目指しています。一研究者として成果を残し、社会に直接的に貢献するだけでなく、一指導者として学生を指導し、未来へも間接的に貢献することが私の夢です。今後もより一層研究に励み、夢の実現に向けて日々精進して参ります。

柳谷 奏明さん(大河内研究室)

この度は、早大環境資源工学会奨学金という名誉ある奨学金を授与して頂き、大変光栄に存じます。将来は社会に恩返しができるような人材になるため、今後も日々精進していきます。私は現在、直径5mm以下のプラスチック片であるマイクロプラスチックの環境中の動態について研究を進めています。近年、海洋でのプラスチック汚染がマスコミ等に取り上げられ、マイクロプラスチックを魚や貝が誤食してしまうことなどへの認知が高まってきました。しかしマイクロプラスチックは実際には、海洋中のみならず大気中や河川水中にも存在しています。私の現在の研究目標は、それらの陸上環境中におけるマイクロプラスチックの分析方法を確立することです。マイクロプラスチックの添加回収実験での回収率を高めるとともに、実試料のサンプリングを通して適切な分析方法にたどり着きたいと考えています。

来年度からは環境問題を社会科学の点から考察するために専攻を変更する予定ですが、学部生時代に自然科学の点から環境問題を研究した経験も活かし、将来は世界で生じる環境問題に深い理解を伴った政策立案を行える人材になりたいと思います。以上をもちまして、将来の抱負とさせていただきます。

早大環境資源工学会からのお願い

安定した支給を確保するために、会員各位からの継続のご厚志をお願い申し上げます。会費、総会懇親会費のお支払いの際には、早大環境資源工学会の寄付金も合わせてお願いいたします。手続き方法は総会案内状をご覧ください。

【編集後記】

早稲田大学を卒業して約30年が過ぎた私に、会報を作成せよとの至上命令が下り、なんとか発行までに至りました。出来映えはご覧の通りですが、会報作成を通して、久しぶりの理工学部51号館にお邪魔したり、馬場の周辺でお酒を酌み交わしたり、楽しく活動させていただきました。この会報を読んでおられる方の中には、何十年も大学に足を運んでおられない方もいらっしゃると思います。是非とも、お時間があれば総会にお越しください。きっと懐かしさとともに、良い思い出が作れると思います。(会報部会)

早大環境資源工学会寄付講座について

早大環境資源工学会寄付講座「環境資源と社会」は、昭和シェル石油・前社長の新井純氏のご提案によって、2015年の秋学期からオムニバス形式の科目として誕生しました。各企業の幹部の方達の生の話を聞くことができる環境資源工学科一年生の必須科目として、現在も継続されています。

本講座は5年目となりました。講師として協力していただける方がおられましたら、ご連絡を頂けると幸いです。

2019年度 講座内容(予定)

日程	所属等	講師名	講演題目
10/1	昭和シェル石油前社長	新井純 氏	エネルギー転換はどのようにして起こるかーこれまでの変遷
10/8	昭和シェル石油前社長	新井純 氏	エネルギー転換はどのようにして起こるかー直面する二つの課題
10/15	昭和シェル石油前社長	新井純 氏	エネルギー転換はどのようにして起こるかーエネルギーのブラックワンを求めて
10/22	資源総合システム社長	一木修 氏	太陽光発電システムの現状と展望ーエネルギーとしての太陽光発電ー
10/29	ジオシステム社長	高杉真司 氏	地熱エネルギーの活用ーいかに地熱発電・地中熱を日本に普及させるか?!
11/5	リオティント ジャパン 副社長	須藤照久 氏	資源産業の近代化ーRio Tintoのケース
11/12	双日(株)金属資源本部アドバイザー (元JOGMEC常務役)	神谷夏実 氏	めざせ、鉱山開発!
11/19	伊藤忠石油開発社長	田辺明生 氏	石油開発の現状と将来: その魅力
11/26	太平洋セメント相談役	徳植桂治 氏	資源循環型社会におけるセメント産業の役割
12/3	日本エリースマグネチックス社長	丹野秀昭 氏	資源循環型社会における「分ける」技術の役割
12/10	DOWAホールディングス技術部門部長	川上智 氏	技術者から見る環境事業
12/17	TOTO常勤監査役	成清雄一 氏	製造業の環境管理と経営
1/7	国際航業上級顧問	前川統一郎 氏	見えない巨大水脈 地下水の科学
1/21	日経広告社取締役	馬場滋 氏	発想法による視点の広がり

DATA (2019年度就職・進路)

●学部卒業 68名 (就職16名, 進学 早大49名 その他3名)

あいおいニッセイ同和損保
NECネクサソリューションズ
タマボリ
ツネシカムテックス
東京海上日動火災保険
トヨタ自動車
ニチハ
ニトリ(2)

日本放送協会
日立パワーソリューションズ
富士通
三井住友海上火災保険
名教教育グループ
森永乳業
研究員

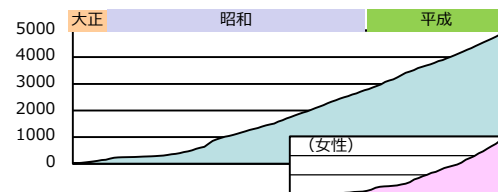


●修士課程修了 51名 (就職48名, 留学1名, その他2名)

アクセンチュア
出光興産
エヌ・ティ・ティ・データ
花王
関西電力
K&Oエナジーグループ
経済産業省
国際石油開発帝石
佐藤製薬
JFEスチール
資生堂
ショーボンド建設
新日鐵住金(2)
シンプレクス(2)
住友金属鉱山
石油資源開発(2)
セールスフォース・ドットコム
太平洋セメント(2)

東京ガス
東京電力ホールディングス
東邦亜鉛
東洋ビジネスエンジニアリング
DOWAホールディングス
鉄道建設・運輸施設整備支援機構
日揮
日興システムソリューションズ
日鉄鉱業
ニトリ
日本アイ・ビー・エム
日本航空(3)
富士通
フロムスクラッチ
三井石油開発
三菱マテリアル
三菱UFリサーチ&コンサルティング
リンクアンドモチベーション

●卒業生数の推移



卒業生総数
4,922人
うち女性
296人